

天窓設置明るさ予測

スカイプランニング 県工業技術研と開発

静岡県工業技術研究所
(静岡市)は天窓製造・
販売のスカイプランニ
グ(浜松市、外山勸社長)

の照明電力の削減が見込
めるといふ。工場や店舗
などに売り込む。

工業技術研はスカイプ
ランニングが使う天窓部
材を詳しく調べ、直射日
光をどのように通し、拡
散するかといった特性を
把握した。その上で同社

の施工実績を用い、季節
や場所によって太陽光が
どう差し込むかを予測し
た。

工業技術研の実験によ
ると、この技術を使って
工場に天窓を設置した場
合、夏は8時間以上照明
をつけなくても、組み立

と共同で、天窓の設置に
よる室内の明るさを予測
する技術を開発した。天
窓をつける場所や数の無
駄を減らせるほか、昼間

て作業に当たるために必
要な明るさ(500ルク
ス)を維持できたという。

スカイプランニングは
10月下旬にシミュレーシ
ョンと天窓設置のパッケ
ージ販売を始め、既に2
件受注した。

同社は「窓からの光を
通常の照明のように扱え
るのは画期的なこと。施
主へ提案しやすい」とし
て、今後も積極販売する
考えだ。